

済生会川口総合病院 広報誌

済生かわぐち vol. 266

ご自由に
お持ち
ください

心房細動の新治療

PFA

パルスフィールドアブレーション



PFA

パルスフィールドアブレーション



© Johnson & Johnson K.K. 2021

心房細動とは

心房細動とは、心房全体が細かく不規則に震えることで、脈が乱れる不整脈の一種です。これによって、心臓がポンプとしての役割をうまく果たせなくなります。また、血栓により脳梗塞の発症リスク等を上昇させる場合も

あります。

心房細動の患者数は、高齢化に伴って今後ますます増えていくと予想されており、主な治療法としては、薬やカテーテルによるものがあります。

新たな治療法、パルスフィールドアブレーション

先ほど述べた通り、心房細動のメジャーな治療法の一つがカテーテル治療です。心房細動を引き起こしている心臓の組織に直接アプローチする治療法を「カテーテルアブレーション」と言いますが、今回取り上げる「PFA（パルスフィールドアブレーション）」は、このカテーテルアブレーションの分野における新しい治療法です。

ことで心房細動の根治を目指すものでした。ですが、治療に熱を使用するたに、まれに食道や横隔神経などの周辺組織に影響を及ぼす可能性があることが課題とされていました。

対するPFAでは、治療に熱を使わず、短時間の周期（パルス）で電圧をかけることによって問題の心筋組織の細胞に細胞死を引き起こします。心筋は周辺組織と比べて電気刺激の影響を受けやすい特徴があるため、PFAは周辺組織への影響を抑えながら治療できる可能性が期待されています。

これまでのカテーテルアブレーションは、異常のある部位に対して高周波を使用し、熱で組織の焼灼を行う

気になる症状や

治療について

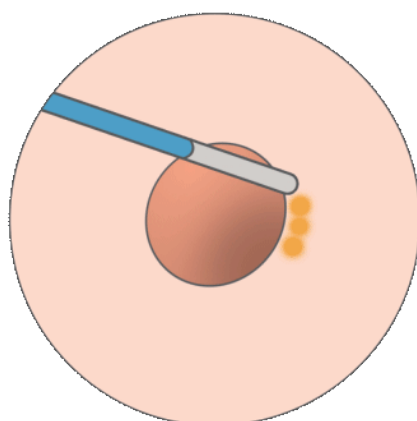
不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

循環器内科 主任部長
中尾 優 医師

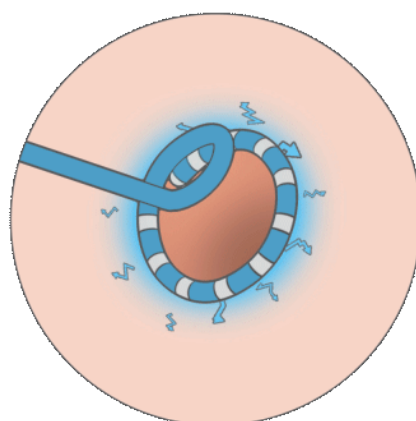


▲
病院 HP でも
詳しく解説しています

従来のカテーテルアブレーション



パルスフィールドアブレーション



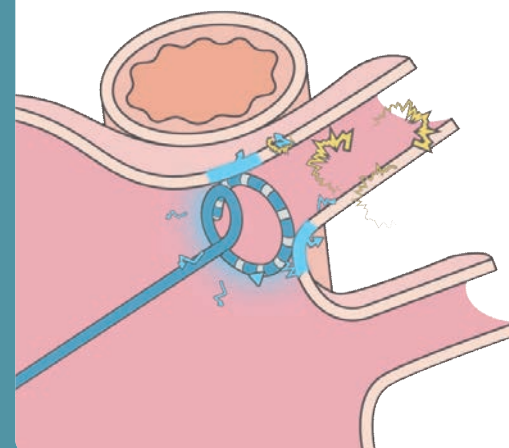
© Johnson & Johnson K.K. 2025 心房細動サポートガイド

PFA 専用カテーテル



© Johnson & Johnson K.K. 2023

PFA の治療イメージ



© Johnson & Johnson K.K. 2025 心房細動サポートガイド



副院長紹介

今年度より副院長に就任された先生方をご紹介します。



南條 友央太

(呼吸器内科)

このたび副院長を拝命いたしました呼吸器内科の南條友央太です。2024年に当院呼吸器内科主任部長に着任して以来、日々の診療を通じて地域の皆さまに温かく支えられていることを実感しております。今後も呼吸器内科での診療を継続するとともに、私の専門である感染症対策の知見を最大限に活かし、平時・有事を問わず、皆さまがいつでも安心して受診できる安全な環境を整えることが私の重要な使命です。これからも、諸先輩方とともに温かみのある病院づくりに尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

石戸 保典

(外科)

このたび副院長を拝命いたしました、石戸保典です。私は消化器外科を専門とし、当院に勤務して 20 年になります。これまで地域の皆さまに支えられながら、消化器がんをはじめとするさまざまな病気の診療に携わってまいりました。当院は地域の中核病院として、安心して医療を受けていただける環境づくりと、質の高い医療の提供に努めております。これからも職員一同、地域の皆さまに信頼される病院であり続けられるよう、医療体制の充実と温かい医療の実践に取り組んでまいります。



田中 聡

(糖尿病・内分泌内科)

このたび副院長を務めることになりました糖尿病・内分泌内科の田中聡です。日頃から地域の皆さまに当院を支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。これからも急性期病院として、必要なときに安心して受診していただける体制を守りながら、質の高い医療を安定して提供していきます。地域に根ざした病院として、皆さまにこれまで以上に信頼していただけるよう努めてまいります。



医療情報システム課の仕事とは？

電子カルテをはじめとした医療情報システムを安定的に稼働させることが一番大きな役割です。その他にも、個人情報の管理や、パソコン・プリンターなどの機器管理、ソフトウェアのライセンス管理なども行っています。

1日の業務の流れを教えてください。

毎朝、システムが正常に動いているかを確認するところから始まります。その後は問い合わせ対応が中心です。各部署からさまざまな相談や依頼が来るので、それぞれ対応しています。

システム停止へのプレッシャーは？

プレッシャーを感じることもありますね。システム停止は診療や病院運営にも大きく影響しますし、個人情報管理の面でも責任があります。医療機関ならではの難しさもありますが、日頃からリスク



やりがいを感じる瞬間はありますか？

を減らしていくことが大切だと感じています。



今後の展望をお願いします。

まずは「相談しやすい部署」でありたいですね。システムでできること・できないことはありますが、まずは気軽に相談してもらい、一緒に考えていければと思います。

泌尿器科バウムクリニック

泌尿器科 性感染症内科



2024年4月に川口駅東口に泌尿器科クリニックを開院いたしました。当院は泌尿器科を専門としており、おしっこや性の問題について真剣に話せる場を提供します。また、増加傾向にある前立腺がんの早期発見・早期治療にも力を入れてまいります。土日診療や院内処方など、患者さんの立場に立った受診しやすいクリニックを目指し、診断から治療まで円滑で無駄のない診療を心掛けてまいります。最近では、痛みや恥ずかしさの少ない検査が普及し、一部の疾患を除いて陰部を直接診察することはありません。親しい間柄であっても話づらい悩みを気軽に相談できる体制を整え、年齢や性別を問わず、お悩みを抱えた患者さんにとって良きクリニックになれるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



はしもと きよし
橋本 雪司 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~13:00	-	○	○	○	○	○	○	-
午後 14:30~17:30	-	○	○	○	-	-	-	-

● 休診日：月曜、祝日 予約優先制
● 中学生以下の未成年は原則保護者の同伴が必要、15歳以上の未成年（高校生含む）は保護者の同意書がある場合のみ単独受診受け入れ

住 所：埼玉県川口市栄町3-1-14
川口三栄ビル4階
TEL：048-241-3300

とねり腎泌尿器クリニック

泌尿器科



当院は地域のかかりつけ医を目指す、足立区舎人の泌尿器専門クリニックです。泌尿器科医として多くの患者さんと接してきて、泌尿器科を受診するのは恥ずかしいといった抵抗を持ち、不安を抱える方々が少なからずいると感じておりました。こうした不安を少しでも安心に変えていきたい、気軽に相談できる、“地域のかかりつけ医”として少しでもお力になればとの思いから、ご縁のあるこの地域の皆様のお役に立てよう安心できる医療を提供したいと考えております。尿やデリケートなお悩みなど、どんな些細な事でもご相談ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



きむら しょうじ
木村 章嗣 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	○	-	○	○	-	-	-
午後 15:00~18:30	○	○	-	○	-	-	-	-

● 休診日：水曜、日曜、祝日

住 所：東京都足立区舎人1丁目11-17
第3横田ビル 2階
TEL：03-5837-2820（予約専用）

あなたの町のホームドクター

地域と地域医療機関の皆さまとの架け橋となり、
地域の人が集える病院をめざします。

地域完結型医療



済生会川口総合病院は、地域の急性期を担う中核病院として、地域の皆さんが安心して暮らせるように、各医療施設をはじめとする施設・機関とよりよい連携を図りながら、安心・安全で質の高い医療が提供できる地域完結型の医療をめざしています。

連携医療機関
検索サービス
スマホで検索
できます



うららか内科クリニック

内科



当院は、内科全般の医療サービスを提供し、親しみのある良き家庭医をめざし、生活習慣病や花粉症、更年期障害など幅広い分野から地域の健康増進に真摯に取り組んでいます。当院の診療方針は、患者さんに寄り添った診療をもとに最善の医療を目指します。院内はバリアフリーで、車いすの方も安心してご来院いただけます。また、中国語対応も行っておりますので、お気軽にご相談ください。スタッフ一同が親しみのある雰囲気作りを心がけ、笑顔でみなさまをお迎えしたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



そん りか
孫 莉華 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	△	-	-	-
午後 14:00~18:00	○	○	-	○	-	-	-	-

● 休診日：日曜、祝日
● 土曜午前は9:00~13:00
● 受診は12歳より

住 所：埼玉県川口市並木2丁目
4-6 1F
TEL：048-299-9581

「病院長コラム」



病院長
佐藤 雅彦

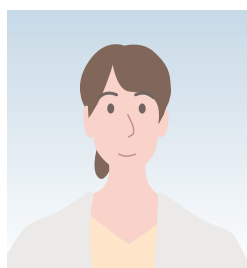
患者さんが医療機関を受診した際に支払う料金を決定する診療報酬は2026年度に改訂があり、6月から適応されています。今回の改定はプラス3.09%と30年ぶりの大きなプラス改定であります。本来診療報酬の改定は物価スライド制でなくては病院の経営は成り立つはずもなく、これまでに積み重ねてきたマイナス改定を考慮すると、十分であるというにはほど遠い状況にあると思います。

今後の人口構造の変化は大きく、2040年を見据えた効率のよい医療提供体制を構築するための地域医療構想を考慮する色合いの強い診療報酬の改定であり、様々な要件は相当にきびしく、その地域で本当に必要とされる病院、そしてある程度体力のある病院のみが生き残れるということになりそうです。

当院もこの地域の住民に必要とされ、貢献できる病院として存続すべく、職員一丸となって尽力していきたいと思っています。

「インフォメーション」

■ 新任医師のご紹介



産婦人科
長谷川 美奈



耳鼻咽喉科
露無 松里

■ 次回 小児健康教室

参加
無料

『食物アレルギーってなあに』

- 内 容：食物アレルギーの原因、検査と治療
- 日 時：2026年9月2日(水) 13:30～15:00
- 講 師：内藤 朋巳(小児科医師)
- 場 所：当院東館地下1階講堂

詳細はこちら



詳しくは当院ホームページでご確認ください。



病院 HP ▶



病院
Instagram ▶



病院
LINE ▶

病院の理念

患者さんを中心とした
質の高い医療の提供により
地域・社会に貢献します



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

埼玉県済生会川口総合病院

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5 ● tel 0570-08-1551 (代) ● HP <https://www.saiseikai.gr.jp/>
済生かわぐち 第266号 2026年7月25日発行 ● 発行人: 病院長 佐藤 雅彦 ● 編集: 事務部長室